

2025 年 ラブアース 倶楽部は
20 周年を迎えます



LOVEEARTH®

2024年度 活動報告

グンゼラブアース
倶楽部

グンゼラブアース倶楽部 会員様へ

「グンゼラブアース倶楽部」は、2006年4月、グンゼ株式会社の創業110周年を記念し設立され、以来社会貢献活動を行っている団体への支援を続け、今年で20年目を迎えました。

あらためてみなさまのご協力に感謝いたします。

持続可能な社会の実現に向けて、環境、子ども、健康といった分野を中心にグンゼグループならではの支援を続けていきます。

引き続き会員の皆さまのご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

2025年 6月

代表幹事 中嶋 順子

CONTENTS

P2

活動報告

2024年 活動内容 / 決算・監査報告 / 支援先団体について

P4

支援先紹介

特定非営利活動法人 アムダ (AMDA)

認定NPO法人 J.POSH (日本乳がんピンクリボン運動)

認定NPO法人ブリッジフォースマイル

一般財団法人 みらいこども財団

公益財団法人 Save Earth Foundation

社会福祉法人 滋賀県社会福祉協議会 (子どもの笑顔はぐくみプロジェクト)

活動報告

「グンゼラブアース倶楽部」は会員さまからの寄付(100円/1口～ 給与・賞与からの天引き)と会社のマッチングギフトを原資とし、「持続可能な社会の形成」のために活動しているNPO団体などへの支援を続けていきます。

項 目		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
会員募集	A会員												
	B会員												
実施項目		会計監査		会報発行	運営委員会 支援先選定			支援					会計確認

■収支計算書 (2024年4月1日～2025年3月31日)

(単位:円)

収入の部	
項 目	金 額
前期繰越金	483,294
当期収入	
活動資金(A会員)	585,700
活動資金(B会員・賛助会員)	6,000
預金利息	303
当期収入計	592,003
収入計	1,075,297

支出の部	
項 目	金 額
支援先への寄付	443,080
寄付金振込手数料	2,750
残高証明証手数料	1,100
支出計	446,930
※次期繰越金	628,367

■貸借対照表 (2025年3月31日)

(単位:円)

資産の部	
科 目	金 額
預け金	628,367
資産計	628,367

負債・剰余金の部	
科 目	金 額
次期繰越金	628,367
負債・剰余金計	628,367

2024年度 グンゼラブアース倶楽部

会計監査報告

グンゼラブアース倶楽部会則25条に基づき2024年度グンゼラブアース倶楽部の決算にあたり、会計監査を実施し、関係書類を監査した結果、決算書のとおり、その処理が適正かつ正確であったことをここに報告いたします。

2025年4月19日 監査委員 氏名 中山佳則 

氏名 高山新 

活動報告

■支援先団体について(計7団体)

2024年度は7団体に対して合計886,160円の支援を実施いたしました。

・京都モデルフォレスト協会、緑の募金への協力を実施しました。(グンゼは協会の法人正会員です)

支援先	支援回数	物品支援
アムダ (AMDA)	16	肌着
J.POSH	13	肌着
ブリッジフォースマイル	9	肌着
みらいこども財団	7	肌着
Save Earth Foundation	5	苗木
滋賀県社協 地域福祉課はぐくみ	2	肌着
京都モデルフォレスト協会	2	募金



2025 年 ラブアース倶楽部は 20 周年を迎えます

本業を活かした持続可能な支援という方向性に基づき、2024年度におきましてはグンゼの事業やサービスを活用し、支援先6団体への支援及び1団体への募金を実施いたしました。会員の皆さま、誠にありがとうございます。

今後も会員の皆さまのご意見をいただきながら、よりよい支援活動ができるよう運営してまいりますので、これからも変わらぬご支援をお願いいたします。

グンゼラブアース倶楽部 事務局

<支援先紹介>

特定非営利活動法人 アムダ (AMDA)

<https://amda.or.jp>

〒700-0013

岡山県岡山市北区伊福町3-31-1

TEL 086-252-7700

AMDA



子ども食堂に参加する子ども達

■2024年度活動報告

2024年、創立40周年を迎え、「相互扶助」の理念のもと国内外で緊急支援活動を行いました。能登半島豪雨、大船渡市林野火災、フィリピン台風、ミャンマー大地震の被災者へ医療や物資を届けたほか、東日本大震災や能登半島地震の復興支援、子ども食堂事業、ウクライナ人道支援、モンゴルやネパールの内視鏡技術指導、貧困率の高いインド・ビハール州での母子保健事業など支援を必要とする人々のもとに寄り添い続けました。

■今後の活動予定について

平和を阻害する災害、紛争、貧困に苦しむ人々に対して、保健医療を中心とした支援をしていきます。国内外の復興支援や子ども食堂、インド母子保健などの継続事業にも引き続き取り組むほか、大規模災害に備え、防災訓練や備蓄食料の充実、緊急救援ネットワークの連携強化に努めます。

■グンゼラブアース倶楽部からの支援の用途について

インド母子保健の妊婦さん、子ども食堂に参加する子ども達、宮城県仙台市の震災ホームレスの方々に提供しました。妊婦さんからは「いただいたショーツはデザイン性に優れていて、生地が柔らかいので履き心地がよく、幸せな気持ちになりました。」子ども達のご家庭からは「物価高の折、子どもの成長に合わせた下着はとても嬉しい」とのメッセージをいただきました

■グンゼラブアース倶楽部へのメッセージ

厳しい状況に置かれている妊婦さんや路上生活者の方々、そして成長期の子ども達へ温かいご支援をお届けできたことは、私たちにとって大きな喜びとなりました。今後もより多くの方々へ温かい支援を届けられるよう、活動を続けていきます。継続的なご支援、心より感謝申し上げます。



インド母子保健に来られた妊婦さん



大船渡市林野火災物資支援活動



ウクライナ人道支援活動

<支援先紹介>

認定NPO法人 J.POSH
(日本乳がんピンクリボン運動)<https://www.j-posh.com>

〒538-0043

大阪府大阪市鶴見区今津南2-6-3

TEL 06-6962-5071



■2024年度活動報告

昨年に続き、プレスト・アウェアネスの啓発と乳房セルフチェックの方法を説明する啓発ティッシュを無償提供する「啓発ティッシュ配りキャンペーン」を実施(24年度約17万個)。320団体を超す応募があり、全国各地で、配布活動を行ってもらう事により、ピンクリボンの啓発が広まる事を期待しています。



女子硬式野球チーム。皆さんが試合の合間にJ.POSHのティッシュを配布してくれたそうです。

■今後の活動予定について

乳幼児を養育しながら、自身が乳がんの治療をうけるママさんにお子さんの一時保育等にかかる費用の一部を補助する「シッターサポートプログラム」では、育児と治療にかかる費用等の負担による精神的不安が和らげられたと喜びの声が届いているので、引き続き支援が必要と考えています。(年間延べ60名)
その他、「奨学金まなび」75名に支給(12万円/年)、家族で湯ったりキャンペーン等も継続していく予定です。

■グンゼラブアース倶楽部からの支援の用途について

2024年に賜りましたメディキュアインナーにつきましては、神奈川県にある病院の大規模な患者会様にて、お送りしました。その病院のがん相談支援センターにて預かってもらい、患者会の会員さんをはじめ、新しい患者さんにも、相談員さんが紹介、配布して下さるとの事でした。

■グンゼラブアース倶楽部へのメッセージ

毎年、メディキュア製品をお送り頂き、ありがとうございます。私達も、すべての患者さんと親しくお付き合いがある訳ではございませんが、メディキュアをGUNZEさんからいただきましたので、お送りしますという事をきっかけに、つながりが深くなるように感じております。ご厚意に感謝しています。



乳がん治療中ママの子育て支援



シッターサポートプログラム

乳幼児を育てながら、抗がん剤治療、あるいは放射線治療を受けられている乳がん患者さんのために、お子さんの一時保育を依頼するため等に係る費用の一部を補助致します。

治療中のお母様、そしてお子さんの双方にとって安心できる環境のもと、お母様がひとときでもゆっくと養生できれば願っています。



<支援先紹介>

認定NPO法人
ブリッジフォースマイル<https://www.b4s.jp>

〒107-0062

東京都港区南青山3-1-30

PASONA SQUARE

TEL 03-6842-6766



■2024年度活動報告

2024年4月に施行された改正児童福祉法に対応するため、社会的養護とつながりがなかったケアリーパー全般にも届くLINE相談支援窓口を開設しました。また、新事業として「緊急ショートステイ」を新たに立ち上げました。さらに、ロールモデルとなる社会人と共に暮らすシェアハウスの2件目を横浜市内にてスタートしました。



施設退所者と働く大人のロールモデルとなる社会人が一緒に暮らす女性限定シェアハウス

■グンゼラブアース倶楽部からの支援の用途について

昨年度同様、ご寄付いただいた製品は18歳で施設や里親家庭を巣立つ子ども達に弊団体の寄付仲介サイト「トドクン」を通じてプレゼントしました。親を頼れない環境で、経済的にも精神的にも心もとない一人暮らしに向けて生活用品一式をそろえる必要があります。御社からの生活必需品の贈り物は新生活に向けた励みになっています。

■グンゼラブアース倶楽部へのメッセージ

経済的にも精神的にも親を頼れず社会へ巣立たねばならない子どもたちにとって、御社からのご寄付は単に経済的な側面だけではなく、応援されているという、大人たちからのメッセージとして励みになっています。



■今後の活動予定について

児童養護施設で暮らす子どもたちや退所後の若者支援を続けていくと同時に、「親を頼れない子どもたちの現状」を社会に対して広く知ってもらうために、当事者たちの声に耳を傾け、共に行動する仲間を増やす「コエールワークショップ」の開催を企業様や学校法人、自治体など様々な方面へ働きかけていきます。



<支援先紹介> 一般財団法人 みらいこども財団

<https://miraikyouso.com>

〒540-0026

大阪府大阪市中央区内本町2-4-16

オフィスポート内本町 1108号

TEL 050-3530-1083



清心寮



高鷺学園



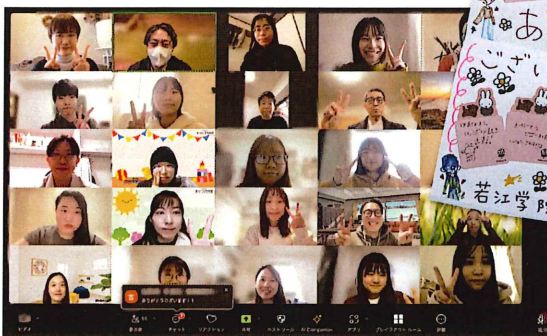
若江学院



■2024年度活動報告

30ほどの児童養護施設に毎月ボランティアが訪問、あるいは、オンラインを活用して、子どもたちと一緒に遊んだり勉強を教えたりしました。そして、地方にある施設数か所にもボランティアが訪問して子どもたちと交流することができ、オンラインを使ったボランティア活動につきましても通常の交流に加えてイベントを継続して開催することができました。

支部全体でオンラインミーティングを行いました



■今後の活動予定について

支援先児童養護施設を40施設、支援する子供を2000人に増やすことを目標にし、オンラインを活用した取り組みの継続をしております。前年度に訪問した地方にある施設へは今年度も訪問を予定しております。さらには、毎月関わっている子どもたちの支援につきましても、より子どもが独り立ちできるための支援を目指します。

■グンゼラブアース倶楽部からの支援の用途について

ご寄贈いただいた商品は、若江学院様、高鷺学園様、清心寮様の3か所の児童養護施設の子どもたちに寄贈させていただきました。

また、毎月子どもたちの支援に関わっているボランティアの中でも特に活躍したボランティアクルーを表彰する24年度ボランティアアワード優秀ボランティアに対してのプレゼントとしても活用させていただきました。

■グンゼラブアース倶楽部へのメッセージ

いつも応援いただきありがとうございます。いただきました商品を直接子どもたちにお渡しさせていただきました。子どもたちの笑顔を見ることができたのと同時に私たち大人も笑顔になり、職員様にも大変喜んでいただくことができました。



<支援先紹介>

公益財団法人 Save Earth Foundation

<https://save-earth.or.jp>

〒144-0043

東京都大田区羽田1-1-3 大鳥居京急第一ビル

TEL 03-5737-2744



■2024年度活動報告

2024年度は、会員企業が森と企業との関わり方を学ぶ「森林アカデミー」という勉強会をスタートしました。また、陸前高田市の森林で陸前高田市とSEFが企業・団体の皆さまと協定を締結し一緒に取り組む「企業などによる森づくり制度」が新設され、会員企業7社が森づくり制度に参加しています。

■今後の活動予定について

千葉県山武市日向の森では、2016年より生物多様性保全やネイチャーポジティブを目指した活動として、自然調査や自然林への植生遷移を促してきました。2025年度は、ネイチャーポジティブを目指すため、日向の森を自然共生サイトへ登録します。さらに、全国各地で市や自治体などと協定を締結している森で、会員企業や地域と一緒に森づくりを展開し、各所の森の特徴を生かした、次世代を担う子ども達へ環境教育を進めてまいります。

■グンゼラブアース倶楽部からの支援の用途について

ご支援いただきました広葉樹の苗木185本は、千葉県山武市と協定を締結している「日向の森」にて、2025年5月10日(土)に植樹を行いました。日向の森では、スギを中心とした人工林に、今年度を含め過去5年間、グンゼ様からご支援頂いた広葉樹を継続して植樹しています。自然林への植生遷移を促し、森に生息する在来種を増やし、生物多様性豊かな森を目指します。

■グンゼラブアース倶楽部へのメッセージ

グンゼラブアース倶楽部様には、いつも苗木をご支援いただき、心から感謝申し上げます。ご支援いただきました苗木は、市や会員企業、地域住民、ボランティアの皆様と大切に育て、生物多様性豊かな森を築きます。



<支援先紹介>

社会福祉法人 滋賀県社会福祉協議会 (子どもの笑顔はぐくみプロジェクト)

<https://shiga-hug.jp/>

〒525-0072

滋賀県草津市笠山7丁目8番地138号

県立長寿社会福祉センター内

TEL 077-567-3924

子どもの笑顔
はぐくみプロジェクト



■2024年度活動報告

子どもを真ん中においた地域づくりをさらにすすめるため、“子どもの笑顔”のスポンサー拡大及び滋賀県内200ヶ所以上にひろがる県内子ども食堂等の開設支援・運営支援等を実施しました。また、子ども食堂フェスタなどのイベントや広報紙の発行、SNS等を通じた広報啓発活動を実施しました。



■今後の活動予定について

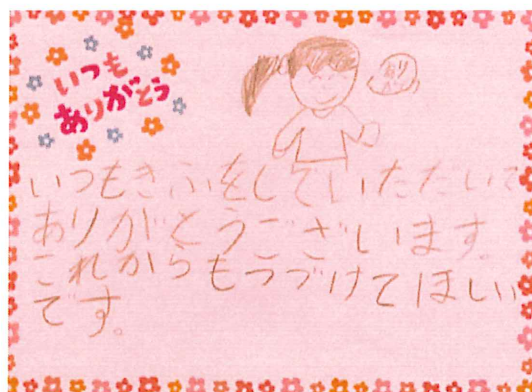
今年度も引き続き、子どもを真ん中においた地域づくりを継続してサポートできるよう、子ども食堂フェスタや広報紙・SNS等での情報発信を通じて、“子どもの笑顔”のスポンサー拡大やサポート内容の拡充をすすめていきます。また、研修・交流会などを通じて、学び合い・つながり合える場を提供するとともに、助成金の交付、食材・物品の提供などにより継続的サポートを実施します。

■グンゼラブアース倶楽部からの支援の用途について

いただきましたご寄付は、県内子ども食堂等全25団体を通じて、必要とされているご家庭にお届けいたしました。物価高騰が続くなか、継続的なサポートを必要とする世帯が増えています。子どもたちが健全に日々を過ごすためにも、個々の成長にあった下着は必要不可欠であり、経済的にしんどさを抱えているご家庭のサポートにもなっています。

■グンゼラブアース倶楽部へのメッセージ

本年度もご寄付をいただきましてありがとうございます。提供先の団体からは、「修学旅行等宿泊を伴う学校行事に新しい下着を持たせてあげられる。大変ありがたい。」といったお声をいただいています。皆様のご理解ご協力に心より感謝申し上げます。



<支援先紹介>

公益財団法人
京都モデルフォレスト協会

[https://
www.kyoto-modelforest.jp/](https://www.kyoto-modelforest.jp/)

〒604-8424

京都市中京区西ノ京樋ノ口町123

京都府林業会館3階

TEL 075-823-0170



公益財団法人
京都モデルフォレスト協会

■緑の募金へ協力

京都府の「緑の募金による森林整備等の推進に関する法律」に基づき、公益財団法人京都モデルフォレスト協会は緑化推進委員会の指定を受け、京都の豊かな森と緑を次世代へ繋いでいくため積極的な募金活動を展開しています。

グンゼは社団法人京都モデルフォレスト協会と「森林の利用保全に関する協定」を締結し、創業の地・綾部の市内2ヵ所で竹の伐採や遊歩道の整備など、里山保全のボランティア活動を協力して行っています。

集まった募金は森林を守り育てる活動に活かされます。



LOVEEARTH®

2025 年 ラブアース倶楽部は
20 周年を迎えます

平素より、当倶楽部の活動にご理解とご支援を賜り
誠にありがとうございます。

引き続き、ご協力賜りますようお願いいたします。

グンゼラブアース倶楽部は、随時新規会員を募集しております。

ひとりでも多くの方々に活動のご理解をいただくことができますよう
お声がけをお願いいたします。

グンゼラブアース倶楽部 事務局

明日をもっと、**こ**こちよく

GUNZE